

お客さま本位の業務運営に関する具体的な取組状況について

足利小山信用金庫

当金庫では、お客さまの資産形成におけるお客さま本位の業務運営の定着を図るために、2018年3月「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を策定・公表しました。

今般、2022年3月末時点の取組状況を公表いたします。今後もよりお客さまにわかりやすくご確認いただけるよう、定期的に見直しを行い、公表してまいります。

1. お客さまへのわかりやすい情報の提供に関する取組み

お客さまのライフステージに応じた商品・サービスについて、わかりやすく説明することを目的として、初心者の方向けに投資信託の初歩から説明できるファンドブックを作成しております。また、お客さまへの説明時は重要情報シートを用いて、ファンドの特徴や手数料、運用状況等をわかりやすく説明できるよう努めております。

>「投資信託ラインナップ」パンフレット

投資信託の魅力

投資信託はさまざまな魅力を持ち、資産運用における優位性を備えた商品です。

メリット1 少額から投資できる

メリット2 スケールメリットを活かし、専門家による効率的な運用が期待できる

メリット3 分散投資ができる

[分散投資のイメージ図]

分散すれば
リスク小
いくつかのカゴに分けて卵を置けば、一つを落とすとしてもすべての卵が割れてしまうことは避けられる。

集中すると
リスク大
一つのカゴにすべての卵を置っていた場合、そのカゴを落とせばすべての卵が割れてしまう。

投資信託のしくみ

経験豊富な専門スタッフが、お客さまに代わって資金を運用します。

投資信託は、お客さまからお預かりした資金を一つにまとめて株式や債券に投資し、その運用成果をお返しする商品です。大勢のお客さまからお預かりした資金は「ファンド」という形でまとめられ、投資の専門家である投資信託委託会社によって運用されます。資金を一つにまとめて投資することで、個人では難しかった大きな額の投資などが可能になるメリットがあります。なお、運用成果はそれぞれのお客さまの投資額に応じて分配されます。

販売会社(当金庫)	運用会社(投資信託委託会社)	管理会社(信託銀行)
ファンド購入の窓口としてさまざまなアドバイスを行います。	お客さまからお預かりした資金を実際に運用します。	お客さまの財産を保管・管理します。

※お客さまが購入したファンドは、販売会社から投資信託委託会社を経て、信託銀行に信託財産として分別管理されています。
※投資信託の販売・運用・管理を担当する会社にもしものことがあっても、信託財産の安全性は確保されています。

投資信託が投資対象とする資産

投資信託が投資対象とする債券や株式、リートなどの資産は、それぞれ特性が異なります。

債券とは

債券とは、国や地方公共団体、民間企業などが資金調達のために発行する証券です。利払日ごとにクーポン(利息)が支払われ、償還期限まで保有すれば額面金額を受け取れます。

国や企業など
国債
社債
国債や社債は、利払日は定期的に収入が得られます。

株式とは

株式とは、民間企業が資金調達のために発行する証券です。株式を購入した投資家は企業の株主となり、経営に参加する権利や配当を受け取る権利などを得られます。

企業
株主
投資家
株主は、配当を受け取る権利があります。

リートとは

リート(不動産投資信託)とは、多くの投資家から集めた資金で、オフィスビルやショッピングセンターなど複数の不動産などに投資し、その賃貸収入や売却益を投資家に分配する投資信託です。

不動産
リート
投資家
リートは、賃貸収入や売却益を投資家に分配します。

※上記は「債券」「株式」「リート」についての一般的な特徴を簡単にまとめたものです。必ずしも記載の通りにならない場合もありますので、ご注意ください。

景気循環と株式・債券の値動き

景気循環の局面により株式や債券の価格は、異なるタイミングで動く傾向があります。

景気循環と株式・債券の関係

[イメージ図]

株式の値動きと景気循環の関係

株式市場は、景気の山や谷を「先取り」する傾向があります。つまり、景気が回復する前から上昇を始め、景気が後退する前から下がり始める傾向があります。

債券の値動きと景気循環の関係

景気が良くなるとう利が上昇する傾向があります。金利が上昇すると国債など債券の価格は下がります。逆に景気が後退すると金利が下がり債券価格が上がる傾向があります。

※上記は景気循環と株式・債券の値動きを一般的に示したものです。実際の市場動向とは必ずしも一致するものではありません。

2. お客さまにふさわしい商品の提供

お客さまの金融知識、取引経験、資産状況、取引目的等に応じた適切な商品をご選択いただけるよう、商品ランナップの充実に努めております。

詳しくは、当金庫ホームページ（トップページ▷増やす▷投資信託）をご覧ください。

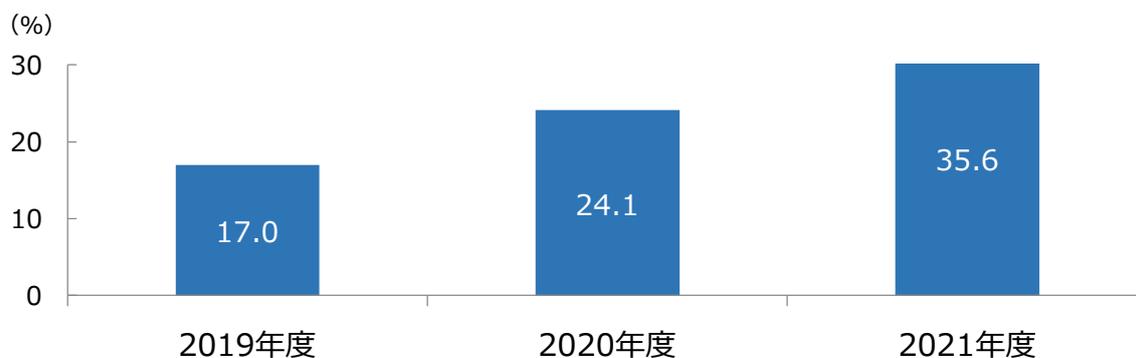
（1）投資信託の販売額上位5商品

○投資信託の販売額上位5商品

順位	2019年度				2020年度				2021年度			
	銘柄	決算別	投資対象	販売額 (百万円)	銘柄	決算別	投資対象	販売額 (百万円)	銘柄	決算別	投資対象	販売額 (百万円)
1	しんきんJリートオープン	毎月決算型	国内リート	1,005	しんきんJリートオープン	毎月決算型	国内リート	372	しんきんJリートオープン	毎月決算型	国内リート	637
2	しんきん3資産ファンド	毎月決算型	バランス	188	投資のソムリエ	年2回決算型	バランス	365	グローバル・ヘルスケア&バイオファンド	年2回決算型	内外株式	493
3	ゼウス	毎月決算型	海外リート	83	グローバル・ロボティクス株式ファンド	年2回決算型	内外株式	126	グローバル・ロボティクス株式ファンド	年2回決算型	内外株式	472
4	しんきん世界需需当利回り株ファンド	毎月決算型	海外株式	58	しんきん3資産ファンド	毎月決算型	バランス	111	新光US-REITオープン	毎月決算型	外国リート	232
5	グローバル・ロボティクス株式ファンド	年2回決算型	内外株式	58	しんきん世界需需当利回り株ファンド	毎月決算型	内外株式	78	グローバル・ハイテクオリティ成長株式ファンド	年1回決算型	内外株式	138

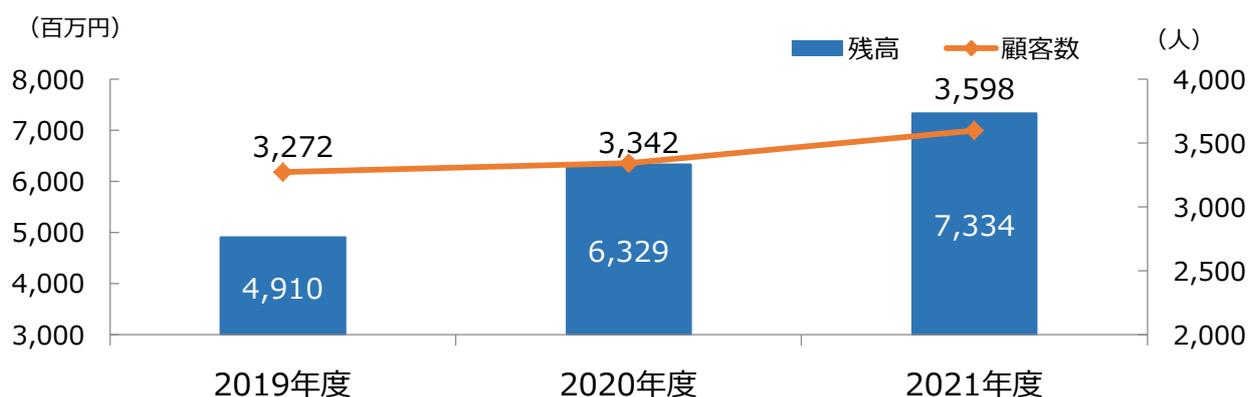
（2）投資信託残高における毎月決算型以外の構成比率

投資信託の残高における毎月決算型以外の構成比率は、前期比+11.5ポイントの35.6%となりました。



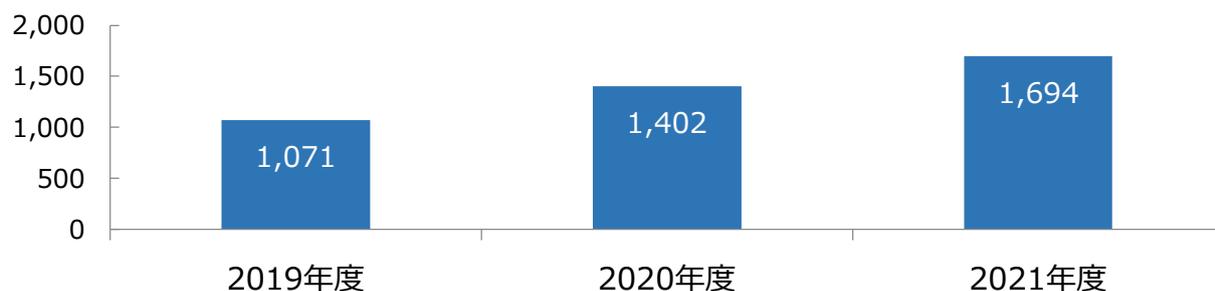
（3）投資信託の残高・顧客数

2021年度は、好調な市況に支えられ、ファンド基準価額の上昇と、それに伴う投資マインドの高まりにより、順調に推移しました。引き続きお客さまへのアフターフォローに努めてまいります。



(4) 積立投資信託の取扱件数

少額から始められ、リスクの分散も図れる積立投資信託の取扱件数は年々増加傾向にあり、2021年度は1,694件の取扱いとなりました。



(5) 終身保険の販売額・件数

2021年度も、新型コロナウイルス感染拡大で、職員による訪問活動を自粛した影響により、前期比で販売額が減少しましたが、終身保険件数は増加しております。



3. お客様のニーズに対応できる人材の育成

お客様の多様なニーズに応えるべく、ファイナンシャルプランナーの資格取得の推奨を通して、職員のスキルアップを図るとともにお客様の資産形成に関するコンサルティング能力の向上に努めてまいります。

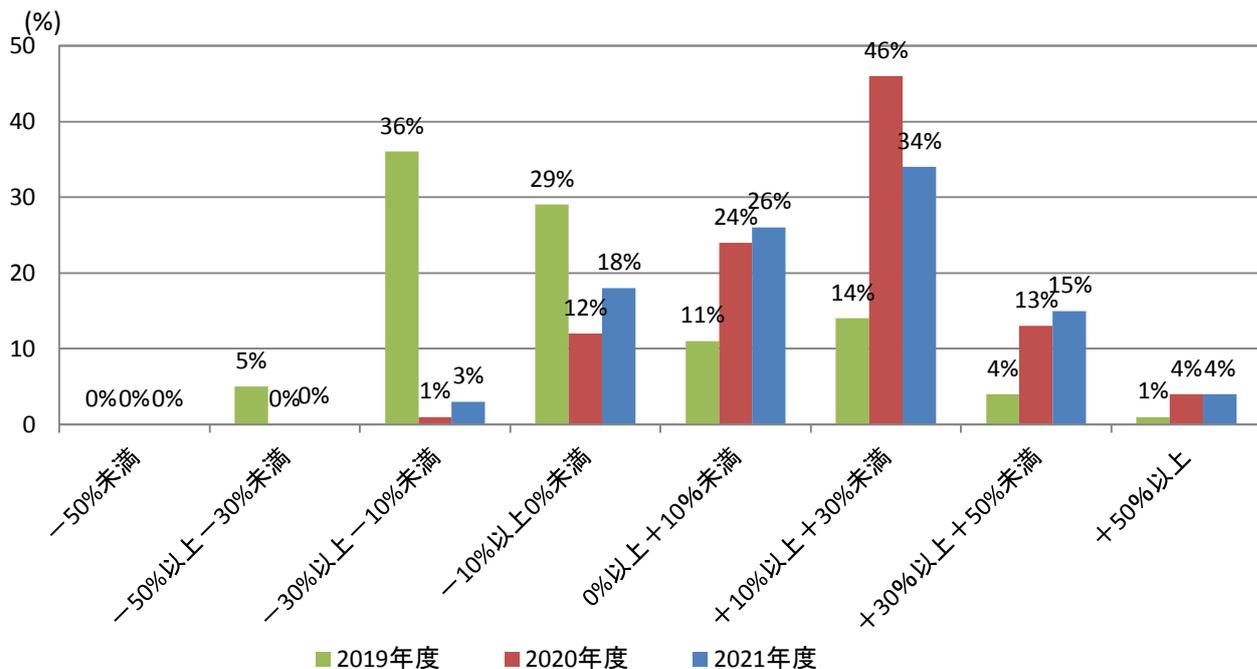
(1) ファイナンシャルプランナー（FP）資格取得者数及び取得率

	2019年度	2020年度	2021年度
FP 資格取得者数	113	119	121
職員数	310	305	295
取得率	36.4%	39.0%	41.0%

4. 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

(1) 投資信託の運用損益別顧客比率

金融市場の変動を背景に、2022年3月末時点で、当金庫で投資信託を保有されているお客さまのうち、運用損益^(注1)がプラス（0%以上）のお客さまの比率は、79%となりました。



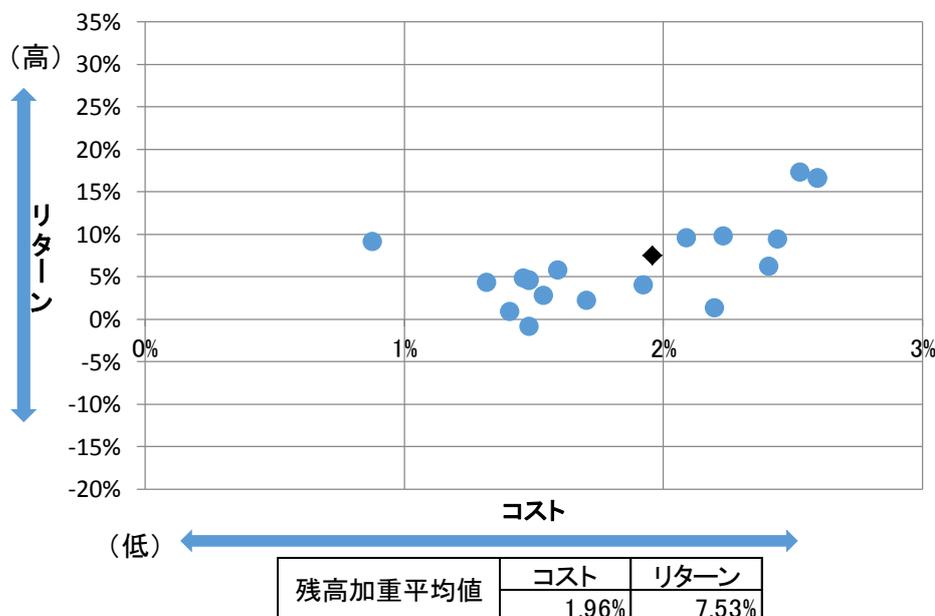
注1) 運用損益：基準日時点の「評価金額+累計受取分配金額（税引後）+累計売却金額-累計買付金額（含む消費税込みの販売手数料）」で算出しています。

注2) 運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出しています。

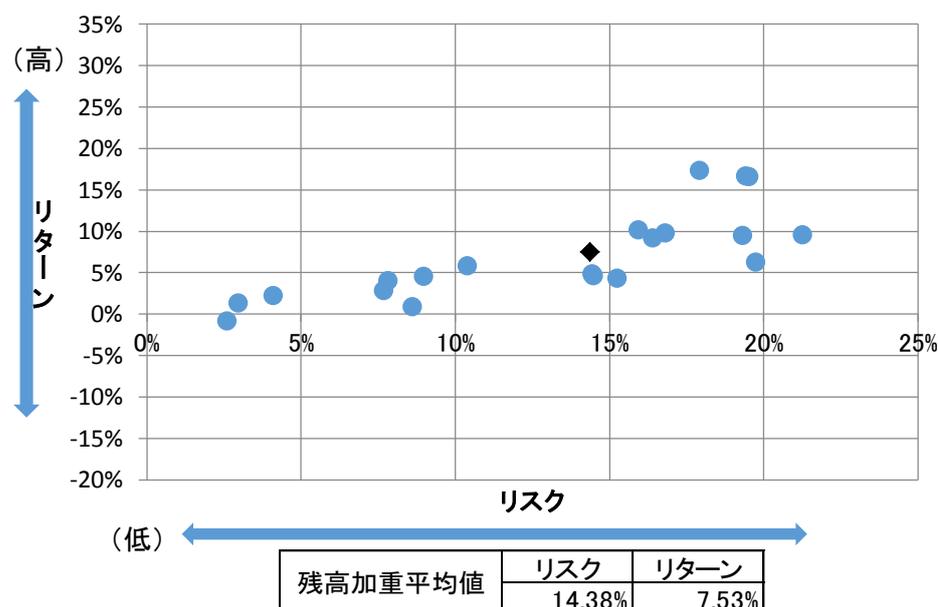
(2) 投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

2022年3月末時点での、投資信託の預かり残高上位20銘柄のコストとリターン、リスクとリターンの関係を示した指標は、下表のとおりです。投資信託の預かり残高上位20銘柄の平均コストは平均コスト1.96%、平均リスクは14.38%となりました。一方、平均リターンは7.53%となりました。

➤コスト・リターン



➤リスク・リターン



注1) 当金庫で投資信託の預かり残高のある銘柄のうち、設定後5年間以上の銘柄について、コスト、リターン、リスクを残高加重平均した値を算出しています。

注2) コストは、販売手数料(税込)と信託報酬率(税率)の合計値です。

注3) リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)です。

騰落率算出の際に用いる基準価額は、分配金再投資後(税引前)の基準価額です。

注4) リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)です。

騰落率算出の際に用いる基準価額は、分配金再投資後(税引前)の基準価額です。

注5) 上記は将来における当金庫の取扱い投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

(3) 投資信託の預かり残高上位20銘柄の個別明細

2022年3月

順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.50%	4.59%
2位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	8.99%	4.51%
3位	新光US-REITオープン	2.23%	16.83%	9.74%
4位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	19.45%	16.64%
5位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	15.96%	10.14%
6位	投資のソムリエ	2.20%	2.99%	1.32%
7位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	19.54%	16.57%
8位	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.44%	19.35%	9.41%
9位	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.53%	17.94%	17.26%
10位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	19.75%	6.20%
11位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	21.27%	9.54%
12位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	7.69%	2.80%
13位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	15.28%	4.31%
14位	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)	1.71%	4.12%	2.21%
15位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	10.41%	5.77%
16位	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)	1.93%	7.83%	3.99%
17位	世界のサイフ	1.41%	8.64%	0.86%
18位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	2.61%	-0.85%
19位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	16.42%	9.11%
20位	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	14.47%	4.78%
残高加重平均値(◆)		1.96%	14.38%	7.53%

注1) 設定後5年間以上。

注2) 上記は、将来における当金庫の取扱の投資信託のリターン、リスクを示唆するものではありません。